

# 特集

～宝焼酎「純」のふるさとを訪ねて～

# 黒壁蔵

昭和52年に登場以来、多くの人々に愛されている宝焼酎「純」。焼酎の本場、九州の宮崎県高鍋町にある黒壁蔵は、宝酒造で唯一焼酎の貯蔵熟成酒を造り、全国の工場へ供給しています。「純」のふるさとへ、地元の方を生産課長の國藤公利がご案内しました。



美しい日向灘を臨む蚊口海岸のほど近くに、ひときわ黒い壁で目を引く建物があります。以前は国営アルコール工場でしたが、昭和27年に宝酒造が引き継ぎました。「この黒壁蔵は、宮崎の地場産業のシンボルですね」と吉野様。

「こんなに広いのに意外と人が少ないんですね」という佐藤様。確かにそう感じるかもしれません。でもお酒は生き物です。どれだけ機械化が進もうと“人”の存在が欠かせません。麹や酵母などの微生物とじっくり対話しながら、いい環境でいい条件で育てられるようにと私たち従業員はわが子のように見守り続けているのです。

黒壁蔵では歴代の技術者の経験から育まれた技術や知識がいまに伝承され、“匠の技”が生きています。「すべてのプロセスで、官能検査士(当社独自の資格)が五感を研ぎ澄ま

して品質を入念にチェックします。香りや味わいなどの微妙な違いは機械では検出できないのです。人が飲む物はやはり人が判断しないと」と生産課の一上将輝は言います。

製造後に出る焼酎粕をリサイクルする蒸留残渣焼却設備や飼料化設備にさしかかって「製品を子供たちとするなら、工場自体がいい教育をしていますね。子供たちがごはんを食べた後の始末までちゃんと考えられている」と門川様。穀物や微生物、水など自然の恩恵を受けているからこそ、廃棄物は捨てる前にリサイクルして役立てたり、元のきれいな状態に戻して自然にかえす。黒壁蔵は宝焼酎「純」を愛飲してくださる全国のお客様のために、環境にやさしい生産体制で優れた品質の製品を安定してお届けできるように日々努力しています。



ご参加いただいた方々



宮崎の自然を通じて教育活動を行う門川 貴信様



工場の緑化が進んでいますね。草花にプレートをつけるのいいですよ



黒壁蔵 生産課長 國藤 公利

ポットスチルを使用するのは意外かもしれませんがね



高鍋町にお住まいの佐藤 幸子様

品質を安定させるために樽の入れ替えですることには驚きました



蒸留室にある単式蒸留機「ポットスチル」

## 「純」の貯蔵熟成酒ができるまで START



### 【原料の糖化】

大麦やトウモロコシなどの原料は、大きなサイロに蓄えられています。原料を蒸釜で蒸した後、麹や酵素の力により、原料中のでんぷんをぶどう糖に変えます。これを糖化と言います。

### 【発酵】

糖化された原料に、水と酵母を加えて発酵させるとアルコールを含んだもろみができます。

### 【蒸留】

できたもろみを連続式蒸留機や単式蒸留機で蒸留し、さまざまな味わいをもった焼酎をつくりだします。

### 【ブレンド】

黒壁蔵から供給された11種類の貯蔵熟成酒を洗練された技術でブレンドして、宝焼酎「純」が誕生します。



宮崎市ホテルメリーージュ総支配人の吉野 明様

ブランデーのような華やかな香りがしますね

### 【官能検査】

貯蔵熟成酒は何人もの官能検査士が香りや味わいをチェックし、合格したものだけが各工場へ供給されます。



貯蔵熟成酒をテイasting

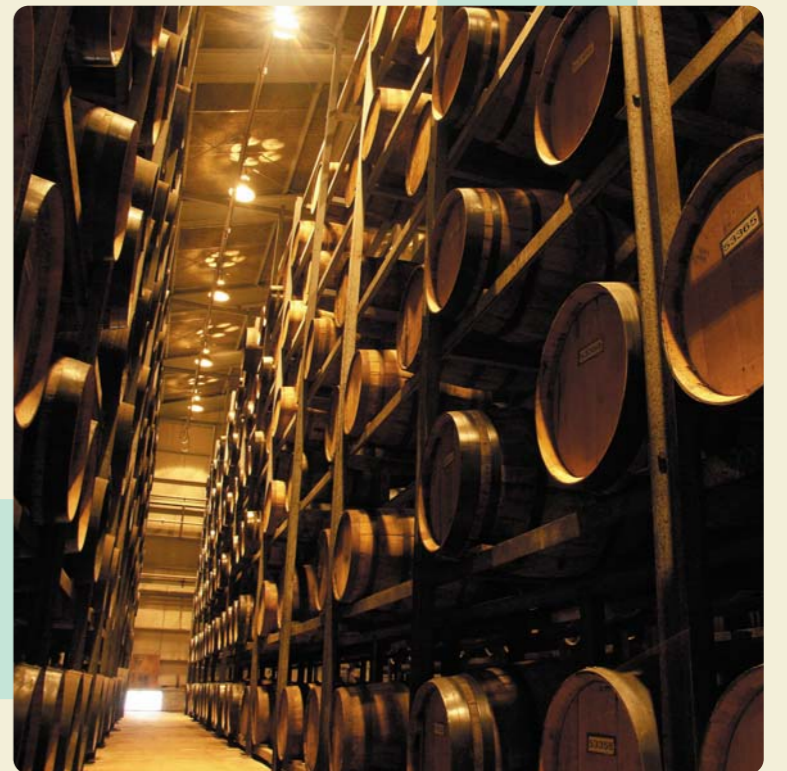
何人もの人間の舌によるチェックで「純」の品質を守っています



黒壁蔵 生産課 一上 将輝

### 【貯蔵】

焼酎をより味わい深いものに仕上げるために、樽などで貯蔵します。「樽にも人と同じように個性があり、材質、樽の焼き入れ具合によってできあがる貯蔵熟成酒が違ってくるんですよ」と一上。これらの樽は定期的に一つひとつチェックし、品質を均一化するために樽の入れ替えなども行います。



2万数千樽が眠る樽貯蔵庫

## ■地域への貢献活動

黒壁蔵は50年以上もこの高鍋で酒造りをしています。それだけに地域の人々との交流も深く、グラウンドの無料貸し出しや、中学校や高校のインターンシップ受け入れなど、積極的に地域に根ざした活動を行っています。また毎年宝酒造の創立記念日には宝酒造労働組合が「地球びかびか大作戦」を実施しており、黒壁蔵では社員やその家族が参加して近くの蚊口海岸を清掃し景観美化に努めています。



①黒壁蔵の向かい側にあるグラウンド。地元の少年野球チームが元気に練習する姿が見られます②③④地元の人々に愛される蚊口海岸。美しい砂浜と青い海を守るために毎年クリーン活動を行っています



## ■徹底した環境管理

地域に愛される企業であるためには、工場から周辺にかけての環境配慮は欠かせません。黒壁蔵ではISO14001を取得し、その基準に基づいて環境に負荷をかけない生産体制を整えています。「海や川が近いだけに特に排水が気になります。社員は地元出身者が多いので、自分たちの環境は自分たちで守るという意識が強いのです」と環境保全係の笠松徹也。工場内はリサイクルシステムが充実し、リサイクル率は99%を維持しています。



⑥1998年、焼酎粕の海洋投棄を全廃するために蒸留残渣焼却設備を設置。粕を燃やして少量の灰にし、セメントの原料として活用していますお父さんも黒壁蔵に勤務していた笠松徹也。環境保全のために厳しいチェックを日々行っています⑦2005年に飼料化設備を設置。焼酎廃液を濃縮して麦糠を加え、養豚飼料の原料のひとつとしてリサイクルしています



⑤日向灘に注ぐ宮田川。海岸は国際保護動物のアカウミガメ産卵地。製造で使用された水は工場内で浄化して川へかえします。その清らかさは工場の排水口にウナギが上ってくることもあるほどです



## 「黒壁蔵」見学を終えて

見学終了後、宝酒造や黒壁蔵についてご意見をお伺いしました。



### 工場の人々やリサイクルが印象的

**門川様** 工場の皆さんが礼儀正しく、お酒をわが子のように見守る姿に感銘を受けました。リサイクル設備も充実しており、企業として信頼できます。

**吉野様** 煙突から、黒ではなく白い煙が出ているのを見て、以前見学した時より随分進化したと思います。

**佐藤様** 私も工場から出る廃棄物はどうなるのだろうと思っていたので安心しました。また、とても静かです。騒音対策にも気を配られているんですね。



門川 貴信様

自然楽校・未来船 楽校長  
平成16年度Takaraハーモニスト  
ファンド助成先  
「日向灘海岸を考えるサミット」顧問  
●宮崎の自然と人間交流に視点を  
置き、不登校の子供たちの学校や社  
会への復帰をめざすセカンドスク  
ールを運営

### 企業姿勢のアピールを

**吉野様** この工場は貯蔵熟成酒造りという重要な役割を担っていて、味や品質を守るために多くの人が関わっています。工場=工業的なイメージがありますが、消費者に貯蔵熟成酒ができるまでの姿を知ってもらえば、それも払拭できるはず。もっとメディアを通じてアピールしたり、商品に表示することができれば付加価値が上がると思います。

**佐藤様** 主婦は日頃商品をブランドイメージで選びますから、企業や商品の認知度を上げることも大切です。工場でも商品を販売してみたいかがでしょう。

**門川様** クリーン活動などについても、新聞などで私たちに知らせてほしいですね。

吉野 明様

株式会社 ユニオンコート  
宮崎オリエンタルホテル  
ホテルメリージュ  
取締役 総支配人  
●宝酒造の企業理念や商品  
を理解していただいで  
いるお客様。日本が抱  
える資源の有効利用の問  
題に関心が高い



### 宝酒造に期待すること

**佐藤様** こういう見学をすると、自分が宝酒造の製品をつくっている気持ちになって愛着がわきます。一般の人々にも見学会を開いてほしいですね。

**吉野様** 環境管理は幅広く奥が深い。海外から仕入れる原料やつくられている環境は？とそこまで取り組む企業であってほしいと思います。

**門川様** たとえば地元でスポーツ大会を主催するなど社会貢献にもっと力を注いでほしいと思います。

佐藤 幸子様

高鍋町にお住まいの主婦  
●ご本人はお酒を飲ま  
ないが、ご主人様は大  
の焼酎党。最近高鍋町で  
厳しくなったゴミ分別やリ  
サイクルが気になる



貴重なご意見をいただきありがとうございます。皆様のご期待に沿えますようさまざまな面で努力してまいります。



宝酒造株式会社 黒壁蔵  
生産課長 國藤 公利

#### 黒壁蔵データ

- 敷地 / 約7.3万㎡
- 貯蔵樽 / 約2万数千樽
- 業務内容 / 甲類焼酎、乙類焼酎の製造・貯蔵熟成
- 従業員 / 55名
- 所在地 / 宮崎県児湯郡高鍋町蚊口浦5323